

# ドン

夢野久作

青空文庫



たいそうあたたかくなりました。

猫が久し振りにあたたかくなつたので縁側に出て見ると、縁側の鉢の中にいる金魚が五、六匹チラチラしています。これは占めた、どうかして取って食べてやろうと思つてジツと鉢の中を狙いました。

犬がこれを見つけて、これはうまいと思ひました。ふだんから憎らしいと思う猫が今日は全く気がつかずにいる。今度こそは引つ捕えてひどい目に合わせて遣らうと、猫に気がつかぬようにそつとうしろから忍び寄りました。

二階の窓から坊ちゃんが見つけて、あの憎らしい犬が又猫をいじめてやろうとしている。今日こそは勘弁しないぞと、空気銃にバラ玉を込めて犬のお尻の処をジツト狙いました。

その時お父さまがこれを見つけて、又坊やがいたずらをしている。よその犬に怪我をさせては大変だ。よしよし捕まえて懲こらして遣らうと、ぬき足さし足うしろから近寄つてお出でになりました。

室の隅で縫い物をしていらつしたお母様はお父様の様子に気がついて、どうしたのかと

思つて窓の外を見ると、猫は金魚をねらい、犬は猫のすぐ後に近寄り、坊ちゃんはお尻を狙つて引き金を引こうとし、お父様は坊ちゃんの襟を捕まえようとしておられます。うっかりすると金魚も猫も犬も坊ちゃんもみんなひどい目に合いそうです。お母様はどうしてよいやらわからなくなりました。

その時にすぐ近所の砲台で耳も裂ける位大きなドンが鳴りました。

金魚は驚いて石の下へ逃げ込みました。

猫はガツカリしてうしろをふり返ると、犬がすぐ足もとにいたので驚いて家の中へ逃げ込みました。

犬はしまったと思つて縁側に飛び上ると、空気銃の弾丸が尻尾のさきをカスツたので驚いて逃げて行きました。

坊ちゃんはガツカリしてうしろを見ますと、お父様が怖い顔をして立っておられたので、「あれ。堪忍して頂戴」

と言うなりに空気銃を投げ出して逃げて行きました。

「アハハハハハ」

とお父様はお笑いになりました。

お母様はホツとしました。

それから間もなく金魚は餌えを投げて貰いました。

猫も犬も御飯をいただきました。

その時お父様もお母様も坊ちゃんも楽しいお昼の御飯を食べていました。



# 青空文庫情報

底本：「夢野久作全集7」三一書房

1970（昭和45）年1月31日第1版第1刷発行

1992（平成4）年2月29日第1版第12刷発行

初出：「九州日報」

1923（大正12）年3月7日

※底本の解題によれば、初出時の署名は「海若藍平」です。

入力：川山隆

校正：土屋隆

2007年7月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# ドン

夢野久作

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>